

むつみ林業振興会がむつみ小学校で「森林体験学習」を実施

令和4年11月21日(月)、萩市立むつみ小学校の3～4年生7名を対象に、地元林業研究グループ「むつみ林業振興会」が森林体験学習を行いました。

この活動は、次代の担い手である小学生を対象に、森林の働きや林業の必要性などについて、体験を通して理解を深めてもらうために行われたものです。

児童たちは、はじめに萩農林水産事務所職員から森林・林業の話を聞き、続いて会員の指導のもと、シイタケ栽培に係る種駒打ちなどを体験しました。

4年生は昨年体験しており、慣れた手つきで電動ドリルを扱い、木づちで次々と種駒を打っていました。3年生は初めての体験で、最初は戸惑っていましたが、徐々に作業が出来るようになり、楽しそうに取り組んでいました。

出来上がったほだ木は、校内の人工ほだ場に仮伏せしました。

今回の森林体験学習を通じて、児童たちには森林・林業に興味を持ってもらえることが期待されます。



電動ドリルで穴あけ



木づちで種駒打ち